

平成 28 年度 狛江市市民活動支援センター第 2 回運営委員会 議事録

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 22 日 (月) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 10 分
- 2 場 所 市民活動支援センター フリースペース
- 3 出席者 委員長 三島瑞子
副委員長 上田英司
委 員 伊藤輝芳 伊藤聡子 内海貴美 大矢美枝子 崎山泰旦 高橋英史
田部井則人 西岡邦子 松村正俊 松村雪子 (50 音順 敬称略)
事務局 高橋宗孝 志田五十鈴 白石珠美 高橋善治 中里紀男 日比野浩
- 4 欠席者 委 員 川久保享 鈴木茂 高橋宗孝(事務局職員として出席したため)
羽田野英博 PTA 連合会 (未定のため)
- 5 傍聴者 6 名(社会福祉協議会実習生 3 名含む)
- 6 提出資料 資料 1 狛江市市民活動支援センター指定管理業務報告書
資料 2 平成 29 年度の目標 (案)

【事前配布資料】

- ①事業体系図
- ②専門部会構図
- ③狛江市市民活動支援センター事業計画書
(平成 27 年 10 月 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会)
- ④狛江市市民活動支援センター ～こまえくぼ 1234～
平成 28 年度事業計画書(平成 28 年 3 月 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会)
※第 1 回運営委員会配布資料

7 会議の結果

会議の結果

1. 開会

(事務局) 足元の悪い中お集まりいただきありがとうございます。本日は社会福祉協議会の小林常務理事が欠席のため、委員の高橋は事務局の責任者として出席しますので、ご了承ください。

2. あいさつ

(委員長) 台風の真っ最中かもしれませんが、無事開催することができました。前回の委員会の後、市民活動支援センターが開設するまでの流れを理解していただくことが必要ではないかということで、説明会を 8 月 4 日に持たせていただきました。その中で、みんなが集まれる場としてのセ

ンターであるということが大切で、このことを前面に出していくべきだという点が一番重要だったのではないかと思います。新しいことをどんどん進めるというのではなく、まずは今まである活動団体をつないでいく役割、そのデータベースを作るということ。また、運営委員会の役割として計画や予算の評価をする諮問機関的な話もありましたが、運営委員会が運営に対してもっと意見を出したり、市民のニーズを受け止められるような場所としてあるべきで、そういう性格であるということが準備検討委員会でも検討され、運営委員会に求められていたということが理解できました。現実には制約があるとしても、方向性としてはそのような立場にあるのではないかと思います。今日は事前に送られている資料に基づいて進めていきたいと思います。

3. 議題

(1) 指定管理業務の報告について

資料2に基づき、事務局から説明

(委員) 事業の内容で、以前のボランティア・センターがやっていたこと以外に、こまえくぼになってから新しく増えた業務はどのくらいありますか。

(事務局) 相談の内容に関しては、今までと違う相談が増えてきていると思います。

(委員) 登録について、団体が登録しているのか、個人が登録しているのかという点について教えてください。

(事務局) 団体になります。

(委員長) 勘違いとかではなく、市民活動支援センターのことを分かって登録しているということですか。

(事務局) 勘違いとかではなく登録していただいています。

(事務局) 先ほどの新しい業務という質問に関してですが、先日「NPO のホンネ」という団体サロンのプレ企画を行いました。今まではネットワークの中の課題についてはネットワークの中で解決していこうというものが多かったのですが、そこで出てきた課題を市民が解決することだけでなく、行政に対してこまえくぼがどのように一緒にアプローチしていけるのかも課題ですよという意見もありました。相談の中でも、市民が協働というものを意識しているように感じています。

(委員長) 私も参加しましたが、結構活発に意見が出ました。ボランティア・センターの時にはありませんでした。

(事務局) 今回間に合いませんでしたが、運営委員会にも報告してほしいという声がありましたので、報告書を作成したいと思います。

(2) 専門部会について

(委員長) 立ち上げについては前回の運営委員会で承認していただいているところですが、進めていかなければならないので、専門部会について事務局から説明があります。

(事務局) 第1回運営委員会で持ち越しとなっていた運営委員会と専門部会の関係性については、【専門部会構図】を見ていただきたいと思います。

まず、運営委員会の役割についてですが、図の中にも記してありますが、

- ① 事業計画及び予算に関すること
- ② 事業報告及び決算にすること
- ③ 事業評価
- ④ 利用に関すること
- ⑤ 運営委員会が必要と認めること

については、委員会で議論、検討していただくこととなります。センターの機能が果たされているか、事業の成果が上がっているか、効果的に利用されているか、協議し会長に報告する。と要綱上は書かれていますが、「委員会が市民活動支援センターの事業を市民の目で評価し、より良い支援センターになるための意見を出し合い、市民にとっての支援センターを作り上げていく委員会である。」と思いますので、実際の事業などにも積極的に足を運んで直接の判断や意見を活発に出していただきたいと考えています。

今までの社協として、ボランティアセンターとしての関わりだけでは十分な対応はできません。もちろん、職員が情報を集めたり提供したりするのですが、職員だけでは見えてこないもの、形として見えにくいものもあります。いろいろな分野から来ていて長く地域で活動されている17名の運営委員の皆さんが、普段から感じているもの、困りごとであったり、なんとかできないかと考えていることが、ほかの地域や団体にもあてはまることがあれば、それは一つの地域課題になります。それを解決するためにはどうしたらいいかということを考えていくことが地域課題の解決にもつながっていくと思います。そのためには、運営委員の皆さんが普段から持っている情報が貴重なものとなりますので、よろしくお願いいたします。

専門部会については、当初4つの部会を想定しています。設置については前回の委員会で承認し

いただいておりますが、市民のためのセンターとなるように、いろいろな事業を進めていくうえで、多様な視点を持つ市民の協力を得ながら行うために部会（という呼び方もこれでよいかどうかわかりませんが）を設けることにしました。

【事業体系図】にあるように、それぞれの部会がおおよそ関わるとされる事業について点線で囲ってあります。ただ、事業そのものが、それぞれお互いに関わりの出てくるものもあるので、おおよその目安としてみていただければと思います。また、順次部会も立ち上げてすすめていきますが、その部会同士も連携しながら進めていくこととなります。

スケジュール的には、できるだけ早く進めたいのが、情報部会と広報部会になります。情報部会はホームページに関わる部分が大きいです。ホームページについては業者も決定し現在のところ10月末を目標にホームページの構築を進めています。ホームページの開設準備中の段階から部会として関わりを持っていただきます。

また、広報部会は創刊のための取材などに時間もかかりできるところから始めていきたいと考えています。残りの2つの部会については年内に顔合わせができればと考えています。

具体的な話は各担当者から説明をします。

（事務局）情報部会はホームページを担当しますが、ホームページは当センターのすべてを網羅するというのを考えないとできないものなので、そういう視点でどう作っていくかと進めているところです。現在の状況は、6月にホームページ作成の業者との契約をし、ページデザインや構成などを決めている段階です。10月末にリリース、11月頃から市民の皆さんに使っていただく予定です。部会の活動内容としては、HPの構築に関しての検証が一つ。当初は構築が終わってから皆さんに使っていただくために部会として立ち上げる予定でしたが、構築する段階から市民の皆さんに関わっていただいて使いやすさなどを検証していくことを考えています。また、登録団体が団体のホームページを利用し情報更新していくことで、団体の活性化につながるように情報更新のサポートをしたり、新規団体のPR広報活動や皆さんからの意見をまとめてどうHPに反映していくかということの分析なども考えています。その他必要に応じて部会の中で出てきたものに対して活動していく。11月頃からはと考えていましたが、構築段階から入るということで9月の初めくらいには部会を立ち上げるようにしたいと思います。

（事務局）広報部会は、ホームページと重なるところもありますが、紙媒体の広報として市民の皆さんと一緒にやっていきたいと思っています。広報部会では、ボランティア・市民活動や地域での取り組みをより広く知ってもらうために市民の皆さんに発信していく、その方法として季刊誌というかたちになります。活動内容として、28年度中に創刊を目指しています。当初年間3回と予定していたが、皆さんと取り組むに当たり、3回という回数にこだわらずにどうするか部会の皆さんと考えていきたいと思っています。今後のスケジュールは、編集会議を月に1回程度行い、創刊にあたりどんなコンセプトにするか、紙面構成はどうするかなども話し合いながら決めていきたいと思っています。取材や記事の作成、編集というところまでかかわっていただける方を募集していきます。9月

1日号の情報誌えくぼと9月15号広報こまえに募集の記事を掲載し9月中にはメンバーを決め、10月中に第1回の編集会議を開く予定です。初めての公募になるので少し丁寧にやりたいと思い、9月15日以降～締め切りまでの間に説明会を1度儲けようと思います。

(事務局) 企画部会は、運営委員会のやることと重複する部分もあります。いろいろな課題やニーズについて運営員会よりもさらに細かいことを拾い出せればと思います。そのためには、部員が事業に参加したりいろいろな団体の催しに顔を出して市民ニーズを引き出し、それを情報として集めて、何が課題であるかなども考えていきたいと思います。

それと同時に、今の事業が本当に市民ニーズに合っているのか、センターとしての役割を担っているのかどうかという整理もしていきたいと思います。今後のスケジュールは、11月1日の市報で公募し、情報誌のえくぼ、ホームページなどで募集をかけて、説明会を開いて参加者を募りたいと考えています。その後については未定ですが、できれば、12月中に集まっていたら、どう進めていくかをみんなで話し合っ方向性を出していくようにしたい。

企画部会というところすごく難しいような印象もあるが、話し合いによっては名称の変更等もあるかもしれません。

(事務局) ボランティア・体験学習等人材育成は、多様性を認め合う社会、共生社会の大切さなど、体験学習を通して心豊かに生きることにつながるようにどのようなことをしていくかということをも市民目線で検討していくものとして考えています。2年、3年で理想に近づけるものではないですが、まずは、体験学習ということで保育園や小学校へ職員が出向いているが、見学していただいたり、一緒にお手伝いしていただく中でそれを基に市民目線でどのようなきっかけづくりをしていったらいいかということを考えていけるような部会にしたいと思います。スケジュールは、11月1日号の広報やえくぼで募集し、説明会を行った後にメンバーを決め、12月中には1回目の打合せをしたいと思います。

(委員長) 専門部会の説明が終わりました。前回よりも役割が明確になってきたのではないかと思います。質問などありますか。専門部会の募集はこれからしていきますが、委員の選出と承認について、運営委員会が承認するという事になっています。しかし、その都度運営委員会を開いては間に合わないということが出てくると思いますが、どうしていくか。公募して応募してくる人もいますし、できるだけ運営委員の皆さんにも手を挙げていただいて運営委員会と部会とのパイプ役という役割をとっていただくとよいのではないかと。部会のメンバーの選出について、いつも運営委員会を開くという流れではなくてすすめていくことができないかと思いますがいかがでしょうか。

(委員) 別に運営委員が必ず出ないといけないということではないということですよ。この部門で一緒にがんばろうという人は出ればいいし、自分の得意分野があれば言いたいけど、ないと

困る。応援する気持ちはあるが、自分がどれに当てはまるのかとか考えてしまいます。

(委員) 各専門部会は何人くらいで考えていますか。

(事務局) 5～6名を想定しています。

運営委員の皆さんは部員に入っていただくのは、あくまでも自由意思で強制ではないということは、前回の運営委員会でも確認しています。自分の専門ではないからということで見送っていただいても構わないですし、専門的ではないけれど興味があってちょっとやってみたいと思う方は是非入っていただいてご協力いただければと思います。

(委員) 専門部会はどういう役割なのか、コンサルタントなのか、意見を言う係なのか、一所懸命記事を書く係なのか、決定責任者は誰になりますか。部会の責任者がいないとまずいかなと思います。みんなで考えましょうと言っても意見を集約するのが難しいと思うので、部会の中はどう運営するのか、どういう役割の人を募集するのか、最後の意思決定は誰がするのがはっきりしていたほうがよいと思います。

(事務局) 最終的な責任というところは事務局になります。部会の皆さんで話し合い進めていきますが、集まっていた方の中で中心的にやっていただく方も必要だと考えています。

(委員) 部会の委員の任期はどのくらいになりますか。

(事務局) 任期として想定しているのは、基本的に1年間で、継続していただければお願いしたいのですが、継続の上限年数も6年ほどと考えています。

(副委員長) 専門部会のメンバーを毎回運営委員会で決めるのは現実的ではないので、実質的には運営委員会で報告するというのでいいと思います。運営委員としては、関心があるところには積極的に入るとか、得意分野ではないけど自分の団体にとって情報を得られるかなとかいろいろな視点で考えてみてもいいのかなと思います。私は情報部会に関心があるので手をあげようかなと思います。

(委員) 専門部会はいくまでも支援センターが設けて行うものなので、運営委員会で承認する必要はないと思います。運営委員会がメンバーに認めるとか認めないとかいう権限を持つというのはちょっと違うと思います。

(事務局) 運営委員会の設置要綱と現実が違うところは悩んでいた部分ですが、委員長から進めていっていいのではないかとということと、運営委員会で報告すればよいのではないかとのご意見を今いただいたので、そのような形でご理解いただければと思います。

(委員) 運営委員会に報告すればよいということを、この委員会で決を取ればよいのではないのでしょうか。

(委員) 専門部会の委員について運営委員会の議決を得てということではなく、現状に合うように運営委員会設置要綱を改正すればよいということが承認されればよいと思います。

(委員長) ご意見、ご提案いただいたように、専門部会の委員については決まったことについては運営委員会で報告し、設置要綱については現状に合うように変更を検討するというところでよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(3) 平成 29 年度事業計画における重点目標 (案) について

資料 2 に基づき、事務局から説明

(事務局) 指定期間 3 年間の総額は決まっていますが、各年度の委託料は年度協定により定めることになっています。まずは予算なのですが、公的資金である指定管理費の性質上、来年度の予算要求の時期が 10 月中旬となります。運営委員の皆さんのご意見を反映した事業計画・予算計画にするためには、9 月末には予算案を提出します。本日の委員会で皆さんのご意見を出していただいで重点目標を決めたいと、事業計画・予算計画の来年度案を作成します。その作成した来年度予算案については、もう一度臨時の運営委員会を開いて皆さんで検討・承認していただいたものを 29 年度予算案として提出する予定です。

今年度スタートしたばかりでまだ半年残っている中で、来年度の計画を立てるのは難しいのですが、5 か月近くが経ち、利用者が少しずつ増えては来ているものの、まだまだ多くの方に知っていただくことが必要ということも感じています。また、業務報告でもお伝えしましたが、利用した市民の声としてどうしたら利用しやすくなるかということについて様々な意見をいただいていますので、これをどうしていくかということは大きな課題ではあると思います。

今年度の重点目標は、支援センターの PR、より良い相談対応、情報の収集と発信という 3 つを掲げました。

事務局の案として一つは 28 年度の目標を継続するというもの。

2 つ目は、資料 2 としてあるものですが、これは重点目標を継続しますが、市民活動への支援という点を明記して追加し、他の部分についても実情に合わせて整理をしたものになります。

いずれにしても、2 月の協定締結までに変更することは可能です。

これらはいくまでも (案) として考えていただければと思います。

委員の皆さんからもご意見いただいて、目標に向けた事業計画案を作成して次回提示できるようにしたいと思います。以上です。

(委員長) 事前の資料もご覧になっているかと思います。今年度は3つの目標を掲げていましたが、まだ十分に果たされていないのではと思われるところもあるので、より深めたり、どう推進していったらいいかということも織り込みながら、次の年度へ進めていったらどうかと事務局からの案がありましたが、グループごとに皆さんで話し合っていてご意見をまとめていただいてもいいのではないかと思います。

(副委員長) 10分くらいで、各グループに事務局も入って話し合いをしていくとよいと思います。

(委員長) 各テーブルで話し合っていていただきいろいろ出たと思いますが、29年度の目標(案)についてのご意見はいかがでしょうか。この案を来年度の目標にするということで承認いただいたということでよろしいですか。

(事務局) 大きな目標を表すものとしての説明文については、もう少し文言を整理しておきたいと思います。

(委員長) 次の運営委員会は11月の予定ですが、これから事業計画と予算案の作成を進めるために、9月の中旬から下旬で臨時の運営委員会を開きたいと思います。皆さんのご都合を聞いて、30日(金)18時30分～になりますので、よろしくをお願いします。

(4) その他

今後の予定についてのお知らせ

- | | |
|-------------|---|
| 8/28(日) | 大人も子どももみんなでチャレンジ『そばうち』 |
| 10/2(日) | こまえクリーンアップ大作戦
(共催 明治大学ボランティアサークル LINKs) |
| 9/4(日) | 夏体験ボランティア振り返り会 |
| 9/4、9/11(日) | 福祉講座「視覚障がい者ってなに？」(10時～12時)
主催：狛江市視覚障がい者の会・共催：こまえくぼ |
| 9/25(日) | ボランティアのつどい(10時～15時)
主催：ボランティア連絡協議会 |

(委員長) 以上で本日の運営委員会を終了します。